

8月21日

テーマ：「御名があがめられますように」

聖書箇所：マタイの福音書6章9節

◆今日のみことば

だから、こう祈りなさい。「天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。」

マタイの福音書6章9節

◆メッセージ

今日は、イエスさまが教えてくださった「主の祈り」の中に書かれているひとつの言葉を考えてみましょう。まず、「御名があがめられますように」です。

「御名」とは「神さまのお名前」ということで、これは「名は体を表す」のことわざの通り、「神さまご自身」ということです。

神さまご自身が「あがめられる」。これは正確には「神さまが聖なるものとされますように」ということです。イエスさまがこのように祈りなさいと仰せられたのは、私たちが生きているこの世は、神さまご自身が神ではないものとゴッチャにされ、神さまの聖さが汚されているという現実があるからです。私たちは、何物よりも先に、神さまを第一となければならないのに、実際はそうしていないのです。だから神さまが神さまご自身にふさわしく、どんな時にも真っ先に、そして最高の地位が与えられますように、という祈りです。

考えて見ると、私たちは何事においても、自分の事をまず第一に考えています。祈りにしても子どもが受験することになったならば、何を置いても子どもに力を貸してくださいと祈るし、病気になるば癒していただきたいと祈るのです。まるで神さまが自分の僕であるかのように、自分の願いに奉仕してくださることを神さまに期待するのです。

そればかりか、時には神さまが自分の願い通りに動いてくれないと腹を立て、神さまに文句をつけるのです。この「御名があがめられるように」という祈りは、それとは逆です。



神さまは世界と私たちの創造主です。私たちはこの神さまによって生かされている被造物でしかありません。そうなら、何を置いても神さまが神さまとしてあがめられ、尊ばれていくように。私たち人間は自分が被造物であるという、自分の立場を十分にわきまえ、それにふさわしい場所に自分を置くということが何よりも大切です。

ある方が、「もし主イエスさまが主の祈りを教えてくださらなかったら、あるいはもし私たちが『祈りはこうしなさい』と祈りの模範を定めてくださらなかったら、絶対に『御名があがめられるように』なんて祈りは、思い浮かばなかったことでしょう」と言っておられました。まさにその通りです。「御名があがめられますように」、神さまだけを第一としますという思いをもって、祈りましょう。

◆お祈り

「天の父なる神さま。『御名があがめられますように』ではない、自分があがめられるように考え、祈っている、私の罪をお許してください。御名によって祈ります。アーメン。」

(白百合福音教会牧師 河村迪男)